

2020

発行日 毎月1日 通算発行 408号

4



協会報

今月のトピックス

令和2年 春の石川県人事異動に伴う着任挨拶
石川県土木部だより

歴史的景観と文化的財産に配慮した土砂災害対策
～天神町急傾斜地崩壊対策事業(金沢市天神町)～

石川県県央土木総合事務所



《石川の工芸シリーズ②⑤》

石川県立美術館蔵

だいほんにやりにしゅぶんぎょうのほこ
大般若理趣分経之箱

ひみ こうどう
氷見 晃堂【明治39(1906)年-昭和50(1975)年】

制作年/昭和48(1973)年 サイズ/口径30.9×胴径12.9×高さ18.4cm 技法/指物・象嵌
黒柿、楠、櫻、柃、神代杉といった材を菱形にとり、それぞれの木目の美しさや木肌の濃淡などを巧みに生かして組み合わせ、拭漆をかけて仕上げています。さらに銀の縮れ線象嵌を全面に施し、装飾効果をあげています。また、形も蓋の甲面の周囲を斜めに切ったり、底部をやや絞るなど、細かい配慮がなされています。制作の原点である正倉院御物を完全に消化吸収した成果があらわされており、格調の高い気品ある見事な作品である。

(石川県立美術館ホームページより引用)

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

発行所 ● 一般社団法人

石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL (076) 242-1161(代) FAX (076) 241-9258

URL: <http://www.ishikenkyo.or.jp/>

CONTENTS

2020

4



◀石川の工芸シリーズ⑧▶
だいばんにやり しめ ぶんきょうの はこ
大般若理趣分経之箱
氷見 晃堂(ひみ こうどう)

1	今月のトピックス	
	令和2年 春の石川県人事異動に伴う着任挨拶	1
2	石川県土木部だより	
	歴史的景観と文化的財産に配慮した土砂災害対策 ～天神町急傾斜地崩壊対策事業(金沢市天神町)～ 石川県県央土木総合事務所	2
3	令和元年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.4	
	北都・高藤特定建設工事共同企業体	4
	令和元年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.5	
	北川建設株式会社	6
4	雇用改善コーナー	
	令和元年度富士教育訓練センター派遣事業感想文	8
5	地区協会コーナー	
	コロナなんかぶっ飛ばせ!! 桜満開、祭りだワッショイ! (一社)七尾鹿島建設業協会	10
	献血奉仕活動 (一社)金沢建設業協会	11
6	会員リレーコーナー	
	⑨株式会社東井組	12
7	今月の「輝き!」さん No.61	
	株式会社 長坂組 浦 史朗さん	13
8	協会だより	
	委員会の開催	14
	土木委員会	
	舗装部会の開催	14
	建築委員会	
	県との災害協定に基づく災害防災訓練の実施	14
	広報・研修委員会	
	委員会の開催	15
	講演会の開催	15
	令和元年度「けんせつセーフティ・ドライブ・コンテスト」結果	16
9	石川県土木施工管理技士会だより	
	北陸三県技士会と北陸地方整備局との意見交換会の開催	19
	JCMセミナー (DVD講習会) の開催	19
10	業界時報	
	令和2年4月 人事異動 (関係分抜粋)	20
	労働災害発生状況	24
	令和元年度 建設工事受注高調 (元請)	24
11	会員消息	25
12	県協会からのお知らせ	25
13	地区協会からのお知らせ	26
14	関係機関からのお知らせ	27

◆ 今月のトピックス ◆

令和2年 春の石川県人事異動に伴う着任挨拶

本年4月1日付けで石川県土木部長に就任された、城ヶ崎正人氏他2名の土木部幹部が、4月1日(水)、(一社)石川県建設業協会を訪問され、新任のご挨拶をいただいた。

県協会では、正副会長以下、各委員会の委員長、事務局役員が出迎えた。

城ヶ崎土木部長は、挨拶で「金沢港クルーズターミナルをはじめ、鼠多門・鼠多門橋、国立工芸館も完成まじかとなり、建設業協会の皆様方のご協力に感謝申し上げます。今年度予算についても間断なく執行し、石川県のインフラ整備に努めて参りたい。」と述べられた。その後、地域の実情や当面する問題点等を中心に和やかな懇談が行われた。

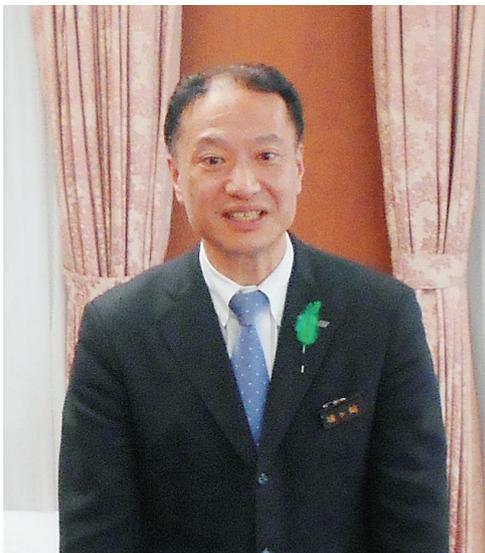
なお、同日、安田秀樹農林水産部長他6名の農林水産部幹部の新任ご挨拶もいただいた。

(来訪された土木部幹部)

- | | |
|---------------------------|---------|
| ・土木部長 | 城ヶ崎正人 氏 |
| ・土木部次長 | 上出 孝之 氏 |
| ・土木部次長 (土木・まちづくり技術センター担当) | 鈴見 裕司 氏 |

(来訪された農林水産部幹部)

- | | |
|--------------------------|---------|
| ・農林水産部長 | 安田 秀樹 氏 |
| ・県参事 (農林担当) | 石井 克欣 氏 |
| ・農林水産部次長 | 柚森 直弘 氏 |
| ・農林水産部次長 (農業土木担当) | 古西 広 氏 |
| ・農林水産部農業政策課技術管理室長 | 川崎 智之 氏 |
| ・農林水産部農業基盤課担当課長 (里山振興担当) | 松村 武志 氏 |
| ・農林水産部農業基盤課担当課長 (事業監理担当) | 池田 俊文 氏 |



城ヶ崎正人土木部長



安田秀樹農林水産部長

石川県土木部だより

歴史的景観と文化的財産に配慮した土砂災害対策 ～天神町急傾斜地崩壊対策事業(金沢市天神町)～

石川県県央土木総合事務所

1 はじめに

天神町には、加賀藩祖前田利家が創建した宝円寺や金沢大学附属病院があり、また町内道路が金沢マラソンコースであるなど、さまざまな重要スポットがあり、毎年多くの人々の賑わいを創出している地域である。しかし、当地区には、高さ30m、勾配32°~66°のがけが人家等に近接していることから、昭和47年度から急傾斜地崩壊対策事業に着手した。

昭和56年度までに擁壁工を主体とした工事が完了したが、地山の風化が進んだため、平成18年度から令和元年度にかけて、未整備であった斜面部分の対策工事を完了させた。



2 事業概要

対策工法は、斜面上部にも人家等が近接しており、切土による斜面の安定化が図れないため、現況斜面に直接、現場吹付法砕工および地山補強土工を整備した。

- ◎事業概要
- 施工延長 L=600m
- 現場吹付法砕工 A=9,800㎡
- 鉄筋挿入工 N=2,850本
- ◎事業期間 昭和47年度～令和元年度
- ◎事業費 10.5億円

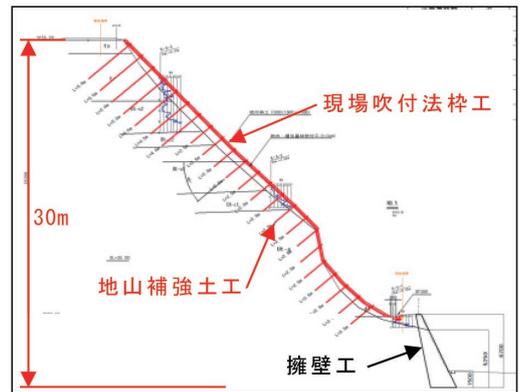


図1 標準横断面図

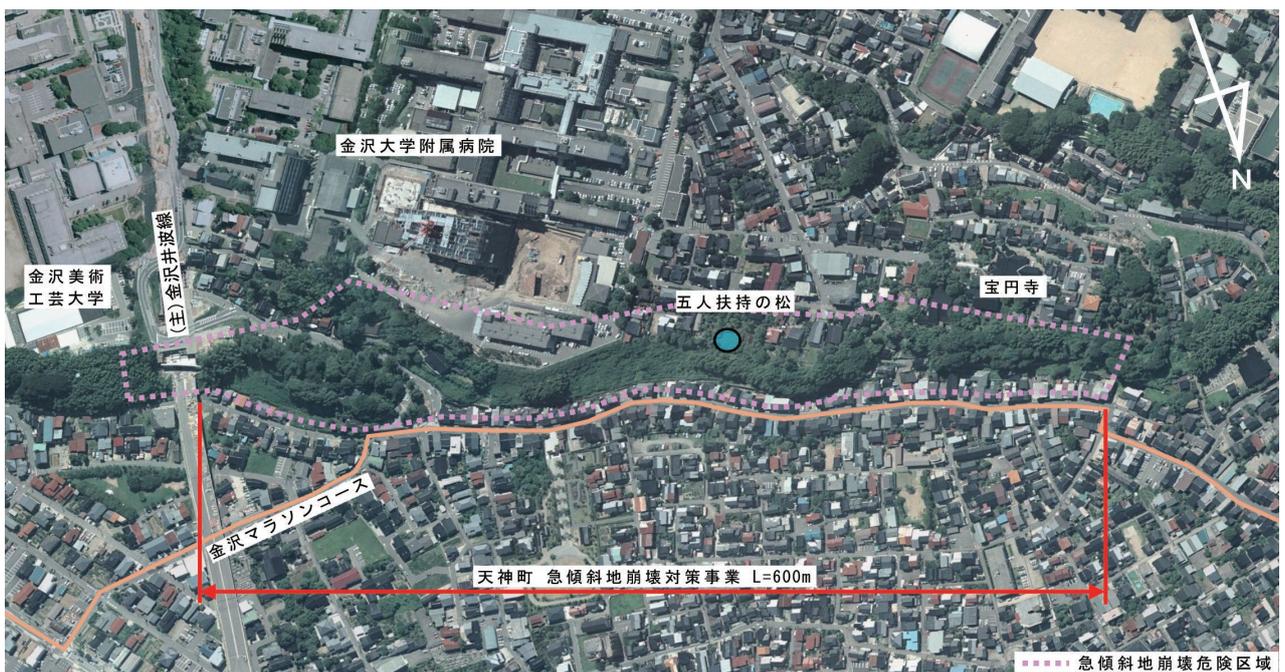


写真1 航空写真

3 工事の制約

当該箇所は、金沢市が風致地区や斜面緑地保全区域に指定しているほか、斜面上部には、国登録有形文化財の宝円寺本堂や日本有数の松である五人扶持ごにんぶちまつの松があること、斜面下部には人家が密集しているなど、工事に関して様々な制約があった。



写真2 五人扶持の松



写真3 「五人扶持の松」付近の対策状況

4 「五人扶持の松」に配慮した斜面对策

「五人扶持の松」は、樹齢400年以上を誇り、樹高は7m、枝振りには南北に約25mにわたり、昭和56年に金沢市が保存樹木に指定している。

この松は、斜面肩から2m程度に位置し、その周辺には根が伸びていることから、斜面对策による松への影響が考えられるため、学識経験者等から成る技術検討委員会を設置し、根付近からの崩壊土砂は斜面下部の既設擁壁工により受け止め、根に影響のない範囲は他と同様の斜面对策を実施する方針を決定した。

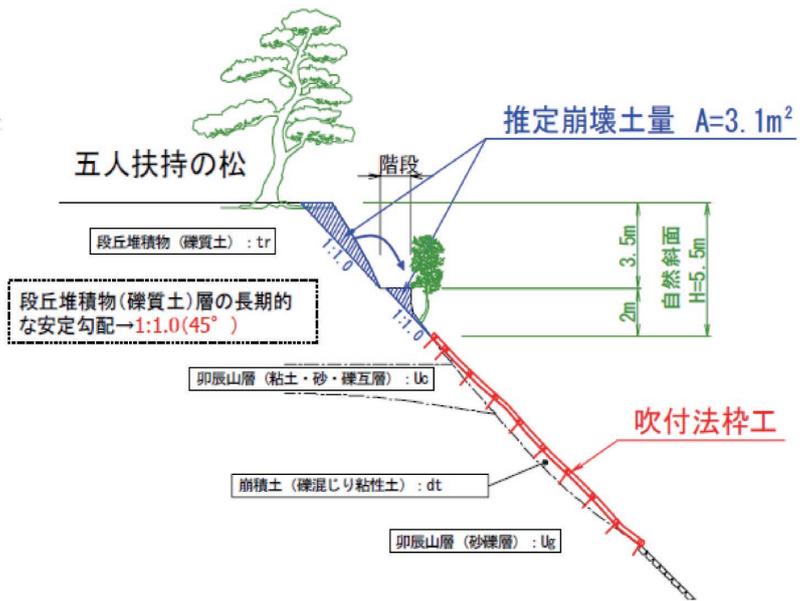


図2 「五人扶持の松」付近の断面図



写真4 技術検討会の様子

5 おわりに

金沢特有の近世城下町の歴史的景観・伝統及び文化は、起伏にとんだ自然地形のもと形成されており、この特徴的な地形を見直してみると、中には土砂災害警戒区域も多くある。

今回の事業箇所のように、住民の生活と安全を守ると同時に、伝統と文化に基づく歴史的景観や遺跡などの文化的財産を保全するうえで、歴史文化施策等と調整しながら土砂災害対策を行っていくことも重要であると感じられる事業であった。

令和元年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.4

施工企業名：北都・高藤特定建設工事共同企業体

■工事名 主要地方道 金沢美川小松線 地方道改築4類工事（手取川橋梁P4橋脚工）

■工事分野 河川・道路構造物工事

■施工場所 能美郡川北町字朝日 地内

■工事概要

橋梁下部工 幅員 W=6.5(10.5)m
 橋脚工（壁式コンクリート橋脚 H=13.9m） N=1基
 基礎工（ケーソン基礎H=16.5m 小判形6.0×13.5m）
 N=1基
 ニューマチックケーソン仮設備 N=1式

■工期 平成29年9月15日～平成30年7月31日

■推薦理由

本工事は、加賀海浜産業道路の手取川架橋区間における橋梁下部工事である。

橋脚の基礎形式には、ニューマチックケーソン基礎工（圧気工法）が採用され、高気圧下における高気圧障害の発生が懸念される中での作業となるため、難易度の高い施工管理が求められた。そのため、高気圧障害防止対策として、ヒューマンエラーによる高気圧障害の発生を未然に防止する減圧管理システムを採用したことに加え、掘削時の変位や傾斜等の計測データをリアルタイムで作業室内に表示することで施工精度の向上を図るなど様々な工夫がなされ出来栄も良好であった。

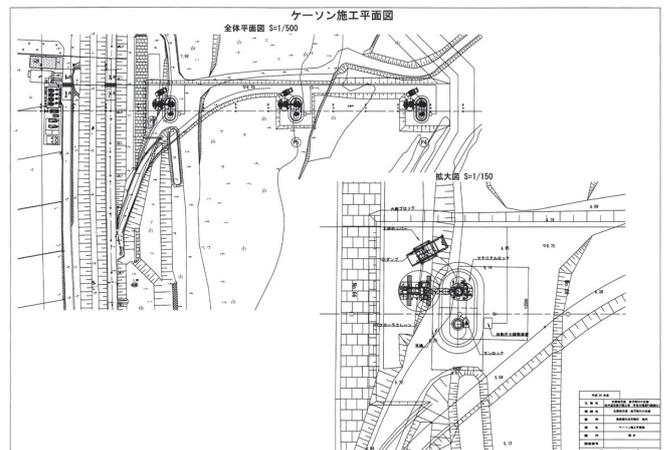
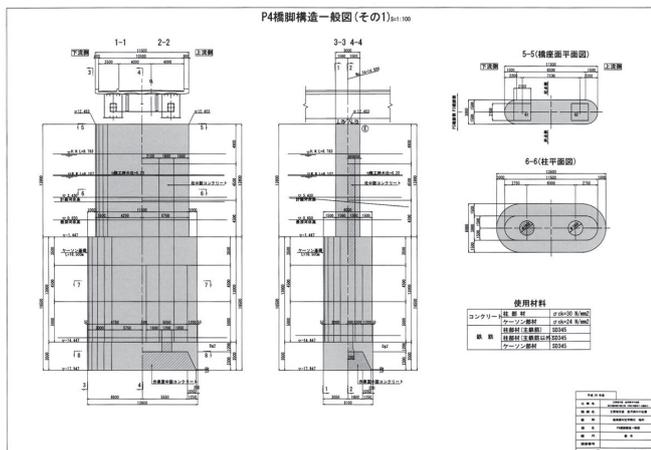
また、工事は河川を仮締切した区域内での施工であったが、リアルタイム気象データの入手に加え、雷検知器や水位計などの観測機器を併用して河川水位の変動に注視するなど入念な安全対策により事故もなく工事を完成させ、更には見学会等を積極的に行うなど、公共工事のイメージ向上にも努め、模範となる工事であった。



完成①（右岸側から左岸側を望む）



完成②（左岸側から右岸側を望む）





ケーソン沈下掘削



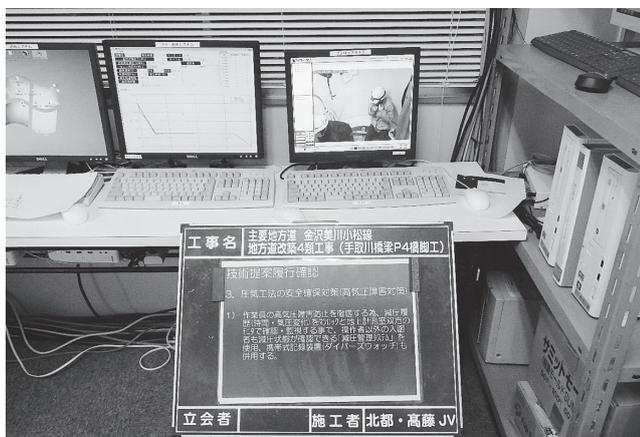
ケーソン内有人掘削状況



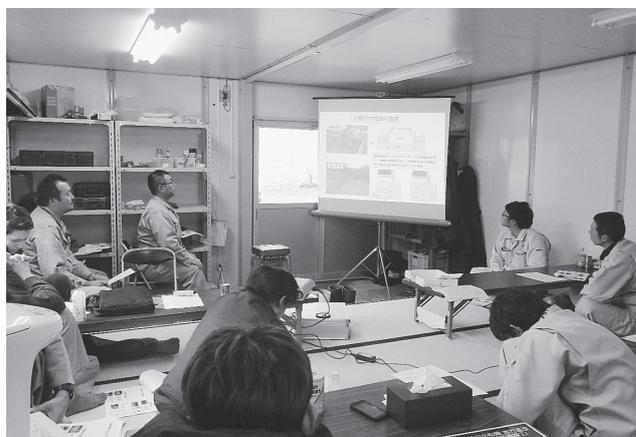
ケーソン内遠隔操作室兼モニター室



ケーソン内無人掘削状況（遠隔操作室）



減圧管理システム及びマンロック内カメラ



高気圧作業勉強会（施工前）

■現場代理人のコメント



現場代理人
西田大志氏

はじめに、令和元年度優良建設工事知事表彰を受賞させていただきまして、発注者、地元の方々及び工事関係者に心より感謝、御礼を申し上げます。

本工事は、橋脚の基礎がニューマチックケーソン工法であったため、高気圧下の作業における高気圧障害が懸念されました。そのため、圧気工法開始前に、安全に関する勉強会を実施し、高気圧作業後の減圧室内の減圧履歴や入函者の状態を地上計測室のモニターで確認し、減圧状態が監視できる「減圧管理システム」を使用しました。また、掘削深度が深くなるにつれて、気圧が高くなるため、ケーソン内の掘削作業は、リモコンによる無人掘削機を使用し、入函時間を短縮することで、高気圧障害を防止しました。

このような対策事項の結果、事故もなく安全に工事を完成することができました。

これからも本工事で学んだことを生かし、工夫しながら、より安全により良い工事を行いたいと思います。

令和元年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.5

施工企業名：北川建設株式会社

■工事名 29災172号 主要地方道金沢湯涌福光線 道路災害復旧工事（軽量盛土工）

■工事分野 道路改良工事

■施工場所 金沢市東荒屋町 地内

■工事概要

復旧延長 L=92.0m

根固めコンクリート工 N=1式

■工期 平成29年9月26日～平成31年1月31日

■推薦理由

本工事は、平成29年の大雨により被災した道路の根固め工を施工するものである。

施工にあたっては、工事中の増破による工法変更に対応したほか、非常に厳しい現場条件の中において、施工中の気象状況を把握するため、Webカメラによる監視や、河川の水位情報の確認を行いながらの施工に努めた。また、狭隘な作業環境において、広範囲に作業状況を確認するため、建設車両に後方270度確認できるモニターを搭載し施工を行うなど、安全管理にも十分配慮し、事故もなく良好な出来栄で工事を完了させた。

また、本路線は金沢市街から湯涌温泉へのアクセス道路であったが、湯涌温泉観光協会や地元町会連合会との調整を十分に行い、苦情もなかった。



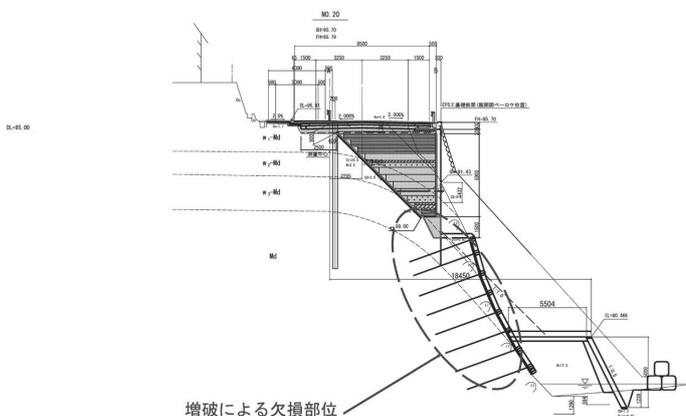
着工前（被災直後の様子）



完成写真（全体の完成）

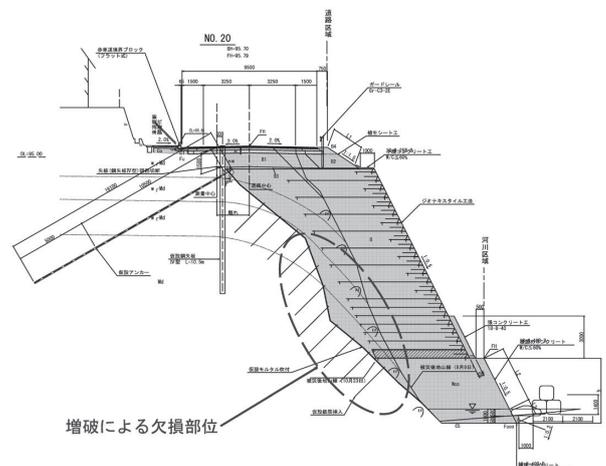
当初標準横断面

軽量盛土（EPS工法）を主体とした本復旧



変更標準横断面

根固めコンクリート工と補強土壁工を主体とした本復旧に変更



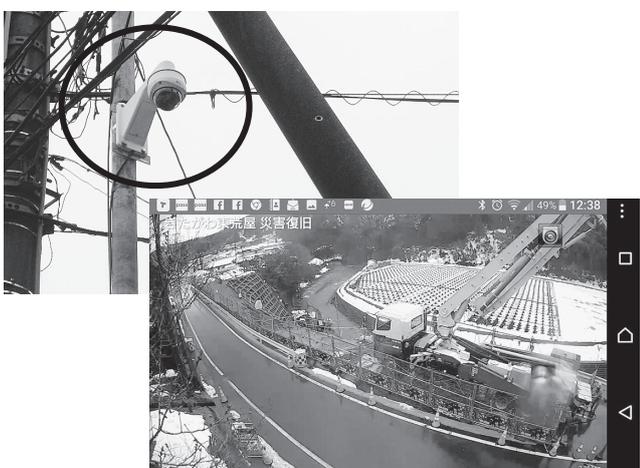
計画標準段面図



増破直後の状況（右岸上流側から下流側を望む）



工事調整協議会構成員による動態観測の様子



Webカメラの設置状況とスマホでの確認映像



冬季の異常降雪（右岸下流側から上流側を望む）

■現場代理人のコメント



現場代理人
松原智則氏

この度は、優良建設工事知事表彰を賜り誠にありがとうございます。

当該工事箇所は沿線住民の生活道路であり、『金沢の奥座敷』と呼ばれ年間6万人を超える宿泊客が訪れる湯涌温泉に通じる、地域にとって重要な幹線道路であることから、安全かつ早期の全線復旧が我々施工者に課せられた使命でありました。

工事開始初期には、被災時の雨量、水位を上回る台風21号に伴う豪雨によって復旧箇所が増破し、当初の復旧計画案であるEPS工法を主体とした軽量盛土工から、根固めコンクリート工と補強土壁工を主体とした復旧方法へと、根本的な工法変更がなされました。

増破後の施工箇所では大幅に復旧の難易度が増したうえ、平成29年度は冬季の異常降雪や低温、春先の融雪増水等、様々な試練を与えられましたが、発注者や関連工事施工者の皆様との緊密な連携、そして協力業者の献身的な協力、地元関係者のご理解によって、被災から1年1ヵ月の期間で全線復旧に至り、施工者として課せられた使命を無事に果たすことが出来ました。

ご協力をいただきました多くの皆様へ、この紙面をお借りして、改めてお礼を申し上げます。皆様方のご協力、本当にありがとうございました。

雇用改善コーナー

令和元年度富士教育訓練センター派遣事業感想文

雇用対策特別委員会(委員長 岡 昌弘)は、2月8日(土)～15日(土)の日程で、若手建設労働者の育成事業の一環として、建設業界に就職が内定している県内の高校生等を対象とした富士教育訓練センターへの派遣事業を実施した。以下は、センターでの研修体験を綴った受講者のレポートの抜粋です。



入職企業 高藤建設工業(株)

県立小松工業高校 奥 光太郎

自分は、この研修を通じて個人的には学生気分が抜けたと感じています。ここで学んだ「玉掛け・小型移動式クレーン」の技術が、入社後に活かせるときがくると思うので、頑張りたいと思いました。

入職企業 北川ヒューテック(株)

県立羽咋工業高校 福田圭佑

この研修を通じて、学生から社会人になるにあたって、プロ意識を持つこと、学生気分を捨てる必要だと分かりました。意識してすぐに学生気分を捨てられるとは思っていませんが、社会人になるまでの2か月、1日1日を意識してやっていきたいと思っています。

入職企業 みづほ工業(株)

金沢市立工業高校 中川寛太

私はこの研修を通して、もっと建築について勉強していきたいと思ったし、資格にも挑戦していきたいと思いました。現場監督として仕事をしていくためにも、建築業の知識だけでなく、コミュニケーションなどいろいろな面で目標を持って頑張っていきたいです。

入職企業 (株)吉光組

県立小松工業高校 寺岡美香

富士教育訓練センターでの早寝早起き、朝昼晩の食事は決まった時間に摂るなどの生活を家に帰ってからもずっと続けて就職に備えたいです。また、現場でも人との共有スペースがあると思うので、相手を思いやりたりする気持ちを忘れないようにしていきたいです。

入職企業 小倉建設(株)

県立羽咋工業高校 濱下敦郎

私の課題は、コミュニケーション能力と積極性です。この二つのことは社会人になるにあたって凄く大事なことだと思います。なので、これらのことができるように、まずは恥ずかしがらずに堂々と人前で発表できるようになりたいです。そうすれば自然と積極性もついてくると思うので、頑張りたいです。

入職企業 協和道路(株)

県立翠星高校 塩田 拓

今後へ向けて、みんなから頼られる社会人になりたいです。今回の富士教育訓練センターで経験した知識を活かして頑張りたいです。特に安全確認をしっかりしたいです。

入職企業 (株)竹松組**金沢市立工業高校 中村理夢**

今後は、この研修で学んだことや身につけた技術を使って、会社の役に立てるように頑張りたいです。この他にも、挨拶の大事さがわかりました。「お願いします」「お疲れさまでした」を普段から心がけて、会社でもしっかりと挨拶していきたいです。

**入職企業 大三建設(株)****金沢市立工業高校 小村勇大**

挨拶や礼儀、服装やルールなど基本的なことを沢山学びました。玉掛けやクレーンの法律や操作なども学んでとても大切な勉強をしたと思います。これから卒業して一人の大人となるので、この研修で学んだことを活かして頑張っていこうと思いました。

入職企業 (株)江口組**県立小松工業高校 新谷一真**

玉掛け・クレーンなどの知識はとても勉強になったのですが、それ以上にコミュニケーション能力と団体行動の難しさに気付くことができました。コミュニケーションは仕事に就いてからもとても大切で社会で生きていく中で重要だと改めて感じることができました。

入職企業 南建設(株)**県立羽咋工業高校 寺下将生**

建設業では、多くの資格が必要となってくるので、若いうちに取れる資格はできるだけ取りたいです。また、コミュニケーション能力も高めていきたいし、職場の先輩から教わったことはしっかりできるような社会人になりたいです。

入職企業 北陸地建(株)**金沢市立工業高校 北原由香**

この研修を通じて、私は朝が苦手だと気付きました。社会人になるにあたって、時間を守るということは大切なので確実に直さなければいけないと思いました。また、朝礼で大きな声を出すことで目が覚めるということが新しい発見だと思いました。

入職企業 高田産業(株)**金沢龍谷高校 池田龍星**

まず会社に入ってから仕事を覚えたいです。それから、自分のできる限りの出せる力を存分に発揮し、会社に貢献できるように頑張っていきたいです。私は物忘れなどが少し多いので、努力して直せるように頑張りたいです。

入職企業 (株)丸西組**県立小松工業高校 永田大輝**

自分に足りなかったのはONとOFFの切り替えをすること、相手を思いやることでした。この足りないものを改善して社会人になっても恥ずかしくないようにしたいと思います。まずは、学生気分をなくしたいと思います。1週間ありがとうございました。



地区協会コーナー

コロナなんかぶっ飛ばせ!! 桜満開、祭りだワッショイ!

(一社)七尾鹿島建設業協会

1. はじめに

今回は、七尾地域で合併前から行われており、大変由緒ある「能登和倉万葉の里マラソン(3月8日(日)開催：総勢8千人参加)」及びこれに伴う当協会ボランティア活動である3月1日(日)実施の「万葉マラソンクリーン作戦」について紹介する予定で準備を進めていましたが、皆様方もご存知のように、突然の「新型コロナウイルス」の全国的な感染拡大に伴い中止となりましたので、これについては今後に戻すことにして、今回はこの4月25日(土)にオープン予定の「和倉温泉お祭り会館」の概要の一部について、この紙面をお借りして紹介することと致します。

2. 概要について

現在の和倉温泉観光会館がリフォームされ、新たに「和倉温泉お祭り会館」として生まれ変わるようになりました。七尾が誇る4つのお祭りである5月連休に行われるでか山の「青柏祭」、7月最終土曜日に行われる「能登島向田の火祭」、そして8月第1土曜日で大奉燈が練り歩く「石崎奉燈祭」、さらには9月20日の深紅の粹旗による島田くずしで有名な「お熊甲祭」の様子が、大スクリーンを活用した迫力ある音と映像の演出により、臨場感をもって直に体験することができます。そして、この施設は大きく分けて「祭り文化の発信ゾーン」、「祭り文化の体験ゾーン」が設けられた展示ホールと「交流・集客・周遊観光ゾーン」の観光情報エントランスに分かれています。これらの施設は周辺の駐車場等も含めて総事業費が約9億円で、総床面積が約3,620m²と聞いております。

5月のゴールデンウィークには、手始めにこの「和倉温泉お祭り会館」でしっかり七尾の4大祭りを体感し、5月3、4、5日の「青柏祭」を皮切りに4つの祭りを体験して、憎き「新型コロナウイルス」をぶっ飛ばして頂ければ幸いです。

会員の皆様方には、「和倉温泉お祭り会館」に足を運んで頂き、七尾の活性化にご協力頂きますようよろしくお願い致します。

3. 利用案内

- ・ 開館時間 9：00～17：00
(休館日 第2・第4水曜日、年末年始(12/29～1/1))
- ・ 入館料 展示ホール 一般800円、小、中学生400円、乳幼児無料
観光情報エントランス (無料)
- ・ 駐車場 普通車(軽自動車)90台、大型車5台



お祭り会館展示ホール (イメージ)

献血奉仕活動

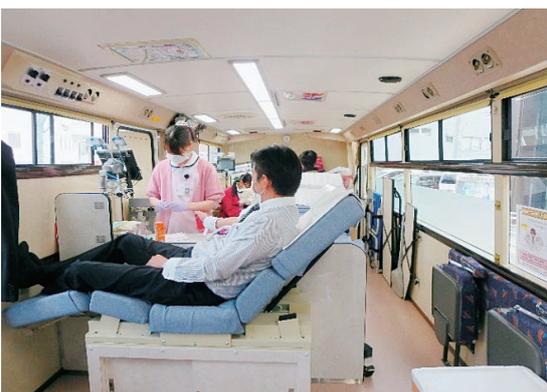
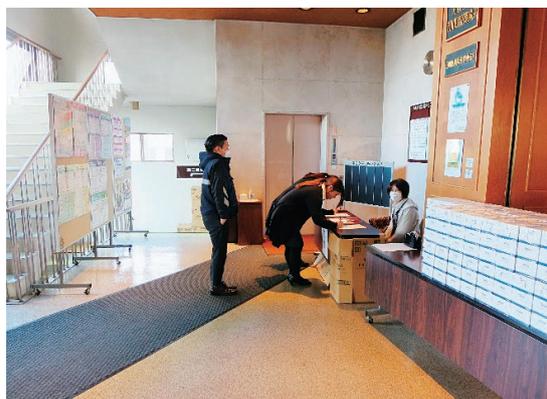
(一社)金沢建設業協会

3月5日(木)、当協会の恒例行事である「献血奉仕」を実施しました。

この「献血奉仕」は、平成4年に社会奉仕活動の一環として開始され、毎年多くの方々にご協力をいただいております。今回の開催は、中国で発生した新型コロナウイルスの感染が金沢市内においても発生が確認され、感染防止対策に重要な時期であるので、石川県赤十字血液センターへ中止の申し入れをしましたが、県内及び国内において血液が不足していることや献血のスタッフ、献血者に対しては新型コロナウイルスの感染予防対策には万全な対応を取るとの説明を受け、強く協力を求められたことから予定どおり実施しました。当日は、会員企業の方々をはじめ、同センター内に事務所を置く関連団体の職員及び外来者の方々等、受付総数136名のご参加をいただきました。

皆様からの貴重な血液は、輸血を必要とする多くの方々の尊い生命を救うことの一助となり、この善意の輪が広がり、他人を思いやる温かい地域となることを期待したいと思います。

ご参加いただきました皆様に感謝申し上げますと共に、今後ともご協力の程よろしくお願い申し上げます。



会員リレーコーナー

①96 株式会社東井組
(所在地：石川県鳳珠郡穴水町字甲レ字248番地)



社 章

近年、地球温暖化の影響で記録的な大雨や台風が多く、去る令和2年3月13日、輪島市門前町を震源地とする震度5強の地震が起きました。その時、深夜の午前2時過ぎにもかかわらず目が覚め、13年前に起きた「能登半島地震」のことが、頭を過ぎりました。幸い、輪島市三井町において一部土砂崩れが起きた他は能登地域で人的被害や大きな被害も無かったと聞き、安心しました。

さて、弊社は「穴水町字甲」で昭和35年4月2日に「東井組」として先々代が創業し、その後、先代が受け継ぎ、昭和56年私が入社して法人化になりました。土木工事を主として、県・町発注の工事、除雪や民間工事等に取り組んで来ました。しかし、年々時代と共に発注工事は減少傾向にあり、入社当時いた社員数も減少しましたが、少人数での特性を生かし、地域と密着して事業を行っ



東井組車庫

ています。

話しは変わりますが、昭和41年から能登北部一体に国営のパイロット事業で800haの山が開墾され、栗の苗木が植樹されました。当時、先代もその事業の一環として穴水町字山中地内で「二子山パイロット事業」として約5haの栗園を造成しました。土木工事の閑散期に、その栗園の草刈り、苗木の植替え作業等を行っています。

今後も社員一同、建設業が、その地域においての防災活動と密接な関係にあることを旨とし、安全、安心な地域創りに努力していきたいと思えます。

今回は株式会社田中組 代表取締役 田中伸一郎さんにバトンをお渡ししますので、よろしくをお願いします。

(株式会社東井組 代表取締役 東井 保)

今月の「輝き！」さん
No. 61



株式会社 長坂組	うら しろう 浦 史朗さん
業 種：施工管理	
経験年数：5年	
年 齢：23歳	

金沢市笠舞2丁目の株式会社長坂組に今月の輝きさん 浦 史朗さんを訪ねました。

ーはじめに、あなたの会社について教えてください。
私が勤務する株式会社長坂組は、昭和22年7月創業の、一般住宅、店舗、オフィスビル、マンション、アパート等の新築工事や改修工事などを手掛ける建設会社です。私は現在、上司の下で現場の施工管理を担当しています。

ーあなたの経歴と会社への入社動機について教えてください。
私は金沢市出身で、地元の小・中学校を経て、父もOBである金沢市立工業高校建築科に入学しました。高校卒業後の進路については、大学に進学するよりも、早く手に職をつけたいとの思いで就職を選択しました。3年生の時に、先生に長坂組を紹介していただき、現場見学をする機会がありました。当時の専務（現社長）さんが親切丁寧に案内してくれるなど、とてもアットホームな会社だと感じました。そんなご縁から入社を決めました。

ー思い出に残る現場はありますか？
入社後2件目の現場で、室内の間仕切り壁の墨出しを1フロアほぼ一人でさせて貰いました。現場の職人さんから、上手にできたと褒めていただきとても嬉しかったです。

ーやりがいを感じる時は？
自分が関係した建物はもちろんのこと、会社が手掛けた建物を見るたびに何とも言えない喜びと満足感を感じます。やりがいを感じるとともにこの仕事を選んで良かったと思います。

ー学生時代の部活、趣味、休日の過ごし方等について教えてください。
小学生の時に児童合唱団に入り、OEKと共演したことがあります。中学校では剣道部に所属しました。高校では生徒会活動が主でした。休日には、読書したり好きな音楽を聞いたりしてリフレッシュしています。

ー高校では生徒会長もされていたんですね？
はい、入学当初、入りたい部活を決められず、建築科の文化部に入部しました。そんな時に先生から声をかけていただき生徒会活動をすることになりました。1年生から3年生まで活動し、会計、書記、副会長、会長を経験しました。人前で話すのは苦手で、卒業式では答辞を読んだのですが、緊張していてよく覚えていません。色々大変でしたが、とても良い経験をさせていただきました。

ー最後に将来の夢、目標は？
昨年、2級建築施工管理技士の資格を取得しました。次の目標は1級建築施工管理技士の試験に合格することです。受験まで数年ありますので、今から準備をしています。仕事に必要な資格をひとつでも多く取得して自分のスキルを高め、会社により貢献できればと思っています。そして将来は、後輩を上手に指導でき誰からも尊敬されるような現場監督になりたいと思っています。



けんせつ一番星☆

「-Sunset Express-MOVE」 毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星☆」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。
是非お聞きください。

協会だより

委員会の開催

土木委員会

◎舗装部会の開催

土木委員会舗装部会（部会長 浦 良一）は、3月31日（火）に金沢市内会議所において、舗装部会を開催した。浦部会長の挨拶のあと、舗装修繕工事に関する課題や新型コロナウイルス感染症対策に係る課題、令和2年度の活動計画、最近の動向等について意見交換等を行い散会した。審議内容及び意見交換は以下のとおりである。



1. 舗装修繕工事に関する課題について
 - ・工事着手に必要な縦横図面等作成費の費用負担について
2. 新型コロナウイルス感染症対策に係る課題について
 - ・新型コロナウイルス感染症に伴う影響について
 - ・新型コロナウイルス感染症対策に関する要望事項について
3. 令和2年度の活動計画について
 - ・部会の開催時期等について
 - ・県舗装業協会と連携・要望活動について
4. 最近の動向等について
 - ・土木部発注工事に係る土木工事積算基準等の改訂について
 - ・石川県版「工事施工の円滑化4点セット」の工事一時中止に係るガイドライン改正について
 - ・石川県建設工事総合評価方式試行運用基準の一部改正について
 - ・i-Construction推進のための基準要領等の制定・改訂について
 - ・道路施設等の設計に関する各種基準類の改訂について
 - ・令和元年度の不調・不落の状況について
 - ・総合評価落札方式の実施結果について
 - ・直轄工事における令和2年度の週休2日工事の取組について
 - ・建設業に適用される残業時間上限規制導入の取組について
 - ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済対策について

建築委員会

◎県との災害協定に基づく災害防災訓練の実施

建築委員会（委員長 橋本和雄）は、3月12日（木）に会員と協力者の合計69名の参加を得て、県との災害協定に基づき平成24年度から数えて第8回目の「災害防災訓練」を開催しました。

訓練に先立ち、3月4日（水）に合同班長会議を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため急遽中止となりました。

訓練内容・方法は、昨年度に引き続き、実際に被害が発生した場合を想定し、早急に被災状況を共有す

るために、携帯電話、スマートフォンを活用して被災状況写真を送付することを主眼とする「情報伝達訓練」を実施すること並びに昨年度に引き続き県で想定した被災建築物について、担当協力者が施設管理者から被害状況を聞き取りの上、被災建築物の調査・応急復旧・記録作成を行う「応急復旧訓練」を行うこととした。

当日午前9時、県よりメールで「災害防災訓練」の指示が協会にあり、直ちに、県協会より各地区代表者である班長にメール及びFAXで一斉に訓練開始の連絡が行われました。

早いものでは午前9時5分頃に、会員及び協力者から写真を添付しての報告があった。一部文字化け等も見られたが、午後4時頃までに報告が出そろい、取りまとめの上県に報告することができた。

当日は好天気であったため、どの写真も概ね鮮明であり県内総計で69カ所の県有施設を調査して頂き、県協会と各班長で被災状況を共有することができた。

また、県内1か所での応急復旧訓練も、3階建て校舎の屋上から瓦が落下する被害があったとの想定で実施され、がれきの撤去、周辺への立ち入り禁止の処置並びにブルーシートによる養生を行うことで無事に終わることができた。

大規模地震を想定した情報伝達と情報の共有化訓練並びに応急復旧訓練を実施することができ、会員並びに協力者の皆様には、多数ご参加頂きありがとうございました。

広報・研修委員会

◎委員会の開催

広報・研修委員会（委員長 高田直人）は、3月16日(月)午後4時30分から、金沢彩の庭ホテルにおいて委員会を開催し、下記事項について審議・報告を行った。

1 協会報4月号について

事務局から協会報4月号の編集計画が説明され承認された。

2 研修所からのお知らせ

建設業税財務講習会の開催結果報告並びに令和元年度事業報告が行われ了承された。

3 その他

(株)タップスの担当者から、今後の広報戦略について提案があり、今後の検討課題とした。



委員会の模様

◎講演会の開催

委員会終了後、同所で講演会を開催し、講師としてお招きした黒川 央 北陸銀行金沢中央支店長、野島一臣 同行本店デジタル推進部キャッシュレス推進チーム主査の両氏から、「キャッシュレスセミナー」と題して講演を頂いた。両氏は、米・中・韓などキャッシュレス先進諸外国と日本とのキャッシュレス決済比率の比較をもとに、日本でも今後、外国人観光客の消費推進、マネーロンダリング対策、税収向上、現金決済インフラ維持コスト削減等のためにキャッシュレス決済が推進されることが予測され、国の施策として、キャッシュレス・消費者還元事業やマイナポイント事業が行われていることについて資料をもとに詳細に説明を頂き、委員一同、キャッシュレスに関して一層理解を深めることができた。



講演会の状況

令和元年度「けんせつセーフティ・ドライブ・コンテスト」結果

1、令和元年度の結果について

第20回「けんせつセーフティ・ドライブ・コンテスト」は、昨年6月にスタートし本年2月までの9ヶ月間をもって終了しました。本年度は、参加チームが昨年度に比べ若干の減少となりましたが、各地区協会の積極的な取り組みに感謝申し上げます。

なお、本年度の結果ですが、チーム達成率は65.1%で前年度比で0.4ポイント上回り、個人達成率は91.2%で前年並となりました。

交通違反の傾向としては、制限速度超過の違反が82件と最多で、シートベルト非着用、携帯電話使用、一時不停止の違反が多く見られ、飲酒運転違反も1件ありました。また、交通事故が5件、違反等により5人が運転免許停止処分を受けています。今年に入り県内では交通死亡事故が多発しています。交通ルールを遵守するとともに、正しい交通マナーの実践に努め、交通事故の防止に努めましょう。

【本年度の実施状況】

○参加・達成状況

区分 【会員数】	参 加 状 況			達 成 状 況			
	チーム 参加数	参加率	参加人員	チーム 達成数	チーム 達成率	個 人 達成数	個 人 達成率
金 沢 【88】	105 (▲1)	119.3%	519 (▲7)	70	66.7% (4.4)	470	90.6% (0.1)
加 賀 【34】	23 (0)	67.6%	114 (0)	19	82.6% (26.1)	109	95.6% (6.1)
小 松 【64】	75 (7)	117.2%	375 (36)	44	58.7% (▲4.5)	336	89.6% (▲0.7)
白 山 【84】	65 (▲17)	77.4%	322 (▲84)	52	80.0% (9.3)	308	95.7% (2.8)
河 北 【26】	30 (3)	115.4%	141 (7)	18	60.0% (8.1)	125	88.7% (0.6)
羽 咋 【38】	33 (0)	86.8%	165 (0)	23	69.7% (▲3.0)	153	92.7% (0.6)
七 尾 【39】	89 (2)	228.2%	438 (9)	52	58.4% (▲4.8)	391	89.3% (▲1.4)
鳳 輪 【53】	39 (2)	73.6%	195 (10)	23	59.0% (▲14.0)	177	90.8% (▲3.8)
珠 洲 【30】	54 (1)	180.0%	269 (6)	33	61.1% (▲1.2)	246	91.4% (▲0.6)
県協会	3 (0)		14 (▲1)	2	66.7% (▲33.3)	13	92.9% (▲7.1)
合 計 【456】	516 (▲3)	113.2%	2552 (▲24)	336	65.1% (0.4)	2328	91.2% (▲0.1)

※参加率の分母は地区協会の会員数です。

※()は前年度対比数で整数は増加▲印は減少を表します。

○交通事故・交通違反の状況

未達成者224名の交通事故・交通違反状況

未達成原因	件数 (前年度対比)	内 訳 (前年度対比)
交通事故	5件 (-1)	死亡事故0件 (±0) 重傷事故1件 (±0) 軽傷事故5件 (+1) 物損事故0件 (-1)
交通違反	245件 (+6)	速度違反 82件 (+39) 【内30キロ以上の速度違反5件 (±0)】 飲酒運転 1件 (+1) 信号無視 14件 (-4) 一時停止 33件 (+3) シートベルト 55件 (-13) 携帯電話 43件 (-16) その他 17件 (-4)

2、令和元年度優良地区協会

本年度の参加率及び達成率優良地区協会は次のとおりとなりました。

○参加率優良地区協会・・・・・・・・（一社）七尾鹿島建設業協会

○達成率優良地区協会・・・・・・・・（一社）加賀建設業協会

3、達成率の年別推移

年度	達成チーム／参加チーム	チーム達成率	達成人員／参加人員	個人達成率	備 考
24	284 / 508	55.9%	2249 / 2531	88.9%	実施期間 令和元年6月1日から 令和2年2月29日までの 9か月間
25	303 / 509	59.5%	2259 / 2529	89.3%	
26	295 / 523	56.4%	2298 / 2532	90.8%	
27	340 / 541	62.8%	2443 / 2692	90.8%	
28	321 / 548	58.6%	2436 / 2724	89.4%	
29	372 / 568	65.5%	2570 / 2821	91.1%	
30	336 / 519	64.7%	2352 / 2576	91.3%	
R1	336 / 516	65.1%	2328 / 2552	91.2%	

4、食事券獲得30チームの抽選結果について

本年度無事故無違反を達成した336チーム中、食事券獲得30チームは、本年3月23日(月)、事務局役員による厳正な抽選の結果次のとおり決定しました。



抽選会風景

令和元年度「けんせつSDコンテスト」食事券獲得チーム

地区協会別	会社名	チーム名
金 沢	(株)和泉建設	IZUMI-III
	北川ビューテック(株)	KENICHI
	石川建設工業(株)	アサガオ
	大三建設(株)	大三けんせつチームB
	(株)岡組	チームK
	(株)明翫組	明翫組O
加 賀	ガイド建設(株)	DSD
	宮永鉄工建設(株)	ゴールドミヤテツ
小松能美	(株)白原組	OVER50
	(株)寺田鉄工建設	チームHata
	(株)トーケン	チーム工務A
	(株)吉光組	総務部

地区協会別	会社名	チーム名
白山野々市	みのり建設(株)	みのりB
	(株)豊商	とよしょう女性陣
	(株)北野組	北野組A
	(株)慶伊組	keii
河北郡市	(株)石川建設	せせらぎチーム
	(株)津幡工業	ツバコ-C
羽咋郡市	池田建設工業(株)	羽生IKEる
	志賀興業建設(株)	S
七尾鹿島	壁屋建設(株)	カベヤD
	(株)杉本工務店	C
	(株)戸田組	戸田DK 1
	丸建道路(株)	マルケンボンド
	和田内潜建(株)	GBIK-2
鳳 輪	三浦建設(株)	三浦建設(株)
	(有)森忠建設	(有)森忠建設
珠 洲	(株)グリーンテック	GTD
	能登建設(株)	アルマイル
	(株)のとさく	のとさく H31 D組

令和2年

～交通マナーアップいしかわ～

春の全国交通安全運動

期間 4月6日(月)～4月15日(水)

4月10日(金)は「交通事故死ゼロを目指す日」

運動の重点

- ◆ 子供を始めとする歩行者の安全の確保
- ◆ 高齢運転者等の安全運転の励行
- ◆ 自転車の安全利用の推進



石川県・石川県交通安全推進協議会

石川県土木施工管理技士会だより

北陸三県技士会と北陸地方整備局との意見交換会の開催

石川、富山、新潟の北陸三県の土木施工管理技士会と北陸地方整備局との意見交換会が2月27日（木）、アートホテル新潟駅前にて開催された。

北陸地方整備局の出席者は、吉岡幹夫局長、内藤正彦企画部長のほか幹部4名、技士会側は、全国技士会連合会の谷口博昭会長、小林正典専務理事、各県技士会会長、副会長及びそれぞれの事務局が出席した。

会議の冒頭、吉岡局長より、建設業の現況と今後の課題について説明があり、特に新3Kの実現、担い手三法、働き方改革の課題に積極的に取組まなければいけないと述べた。引き続き、三県技士会を代表して鶴山庄市石川県技士会副会長が、過去、苦しい時期もあったが、処遇の改善が少しずつされてきており、働き方改革、生産性向上という課題があるものの、今後も官民、共通認識を持って課題に取り組んでいきたいと述べた。続いて、谷口会長が、働き方改革や担い手の確保、ICT施工といった課題について、官民連携し、現場の声や技術者を重視して取組んでいかなければいけないと述べた。その後、小林専務理事から、昨年11月に実施した、監理技術者兼務に関するアンケートの結果について説明があり、小林専務は、兼務に関しての様々な意見や課題の提案が述べられていることから、国土交通省にしっかりと伝えていくと述べた。

次に、三県技士会からの提案議題について各県の技士会会長や副会長が説明を行い、それに関する回答や質疑のあと、具体的な事項について意見交換を行った。提案議題は、石川県土木施工管理技士会より、「監理技術者の兼務を認める制度の運用及び兼務に伴う簡素化・合理化の推進について」、富山県土木施工管理技士会より、「監理技術者の兼務を認める制度の運用について」、新潟県土木施工管理技士会より、「監理技術者の兼務を認める制度の運用について（コリンズを踏まえて）」の3議題で、それぞれの議題について活発な意見交換が行われ、散会した。



JCM セミナー（DVD 講習会）の開催

石川県土木施工管理技士会（会長 江口介一）は、2月21日（金）（一社）小松能美建設業協会においてJCMセミナー（DVD講習会）を開催した。

この講習会は、DVDによる講義（午前中・建設業法完全解説～建設業法および関連法講座～午後・工事成績評定／工事評価点対策講座80点取る方法）を受講することにより、CPDSが5ユニット付与される。

今回、14名の参加があり、出席者は今年度最後のセミナーとあって、熱心に講義を受講していた。



業界時報

令和2年4月 人事異動（関係分抜粋）

※（ ）は前任地

◎国土交通省

●北陸地方整備局

職名	氏名	前任地職名
建政部長	佐藤 英明	(国立研究開発法人 建築研究所 国際協力審議役)
河川部長	新井田 浩	(青森県 県土整備部長)
道路部長	森若 峰存	(山口県 土木建築部長)
営繕部長	平田 哲人	(大臣官房 官庁営繕部 整備課 施設評価室長)
用地部長	三塚 明彦	(広報広聴対策官)
総括防災官	山本 悟	(企画部 技術調整管理官)
主任監査官	高井 俊英	(信濃川河川事務所 副所長)
入札契約監査官	山崎 智	(長岡国道事務所 副所長)
広報広聴対策官	石川 博英	(総務部 調査官)
総括防災調整官	渡邊 昌彦	(三国川ダム管理所長)
防災情報調整官	小越 範夫	(企画部 情報通信技術課長)
防災室長	松川 武彦	(新潟国道事務所 副所長)
災害対策マネジメント室長	堀内 崇志	(防災室長)
企画部 環境調整官	向田 満	(道路部 道路情報管理官)
企画部 技術調整管理官	山田 幸男	(企画部 技術開発調整官)
企画部 技術開発調整官	姫野 芳範	(大町ダム管理所長)
企画部 事業調整官	内藤 和久	(河川部 地域河川課長)
企画部 工事品質調整官	杉 浩行	(企画部 事業調整官)
企画部 総括技術検査官	福田 光生	(河川部 地域河川調整官)
企画部 広域計画課長	川尻 克巳	(長岡国道事務所 副所長)
企画部 施工企画課長	宮島 実	(北陸技術事務所 副所長)
企画部 情報通信技術課長	樋口 淳一	(北陸技術事務所 副所長)
建政部 建設業適正契約推進官	片山 敦史	(新潟国道事務所 副所長)
建政部 計画・建設産業課長	鬼丸 真希	(総合政策局 総務課 連絡調整係長)
河川部 水政調整官	河村 優	(入札契約監査官)
河川部 地域河川調整官	石田 和典	(飯豊山系砂防事務所長)
河川部 河川情報管理官	中谷 正勝	(阿賀野川河川事務所長)
河川部 広域水管理官	大熊 義史	(河川部 河川工事課長)
河川部 地域河川課長	古山 利也	(黒部河川事務所 副所長)
河川部 河川工事課長	田邊 雄司	(河川部 水災害予報センター長)
河川部 水災害予報センター長	長谷川達也	(高田河川国道事務所 副所長)
道路部 道路調査官	渡辺 隆幸	(羽越河川国道事務所長)
道路部 路政調整官	吉田 哲夫	(信濃川下流河川事務所 副所長)
道路部 地域道路調整官	澤山 雅則	(白山市 副市長)
道路部 道路情報管理官	吉田 英治	(国営越後丘陵公園事務所長)
道路部 道路計画課長	一木慎太郎	(道路局 企画課付)
道路部 地域道路課長	笹岡 和幸	(企画部 広域計画課長)
道路部 交通対策課長	稲本 義昌	(災害対策マネジメント室長)
港湾空港部 計画企画官	谷上 正晃	(港湾局 海岸・防災課 防災対策室 課長補佐)
港湾空港部 港湾危機管理官	阿部 秀一	(金沢港湾・空港整備事務所 副所長)

港湾空港部	港湾高度利用調整官	武田 均	(港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室長)
港湾空港部	港政調整官	長谷川政弘	(新潟港湾・空港整備事務所 副所長)
港湾空港部	土砂処分管理官	高橋 孝広	(港湾空港部 港湾管理課長)
港湾空港部	品質検査官	田中 智	(新潟港湾・空港整備事務所 前任建設管理官)
港湾空港部	港湾管理課長	茨木 則夫	(港湾空港部 土砂処分管理官)
港湾空港部	港湾事業企画課長	風間 悟	(港湾空港部 港湾高度利用調整官)
港湾空港部	港湾空港整備・補償課長	関口 忠志	(金沢港湾・空港整備事務所 副所長)
港湾空港部	クルーズ振興・港湾物流企画室長	樋口 豊志	(港湾空港部 港湾事業企画課長補佐)
港湾空港部	品質確保室長	山川 匠	(港湾空港部 品質検査官)
営繕部	官庁施設管理官	木村 己与	(関東地方整備局 宇都宮営繕事務所長)
営繕部	技術・評価課長	那須 大輔	(大臣官房 技術調査課 建設システム管理企画室 課長補佐)

●金沢河川国道事務所

副所長	万行 康文	(千曲川河川事務所 副所長)
用地対策官	谷内 清孝	(利賀ダム工事事務所 総務課長)
総括保全対策官	山田 宗明	(利賀ダム工事事務所 工事課長)
地域防災調整官	以倉 直隆	(企画部施工企画課 課長補佐)
建設専門官	田中 和広	(利賀ダム工事事務所 建設専門官)
建設専門官	古林 尚子	(金沢河川国道事務所 金沢国道維持出張所長)
総務課長	水澤 徳至	(松本砂防事務所 総務課長)
経理課長	渡邊 栄樹	(立山砂防事務所 建設専門官)
工務第一課長	青木 一典	(立山砂防事務所 水谷出張所長)
工務第二課長	月田 孝	(金沢河川国道事務所 建設専門官)
品質確保課長	宮川 実	(富山河川国道事務所 道路管理第二課長)
道理管理第一課長	池端 圭祐	(新潟国道事務所 保全対策官)
防災課長	吉崎 皇淑	(富山河川国道事務所 建設専門官)
手取川出張所長	奥井 淳	(金沢河川国道事務所 尾口砂防出張所長)
白峰砂防出張所長	江瀬 直嗣	(河川部河川計画課 調査第一係長)
尾口砂防出張所長	干場 浩幸	(金沢河川国道事務所 手取川ダム管理支所長)
松任海岸出張所長	北川 正良	(富山河川国道事務所 調査第一課 専門官)
手取川ダム管理支所長	佐成 孝夫	(金沢河川国道事務所 松任海岸出張所長)
能登国道維持出張所長	中村 長則	(富山河川国道事務所 防災課 専門官)
金沢国道維持出張所長	此川 新一	(富山河川国道事務所 建設専門官)

●金沢営繕事務所

事務所長	外崎 康弘	(関東地方整備局 営繕部 計画課長補佐)
------	-------	----------------------

●金沢港湾・空港整備事務所

事務所長	高橋 伸一	(港湾空港部 港湾事業企画課長)
副所長	松瀬 勝二	(輪島市 建設部長)
副所長	阿部 武	(港湾空港部 品質確保室長)
沿岸防災対策官	玉木 基夫	(港湾空港部 海洋環境・技術課長補佐)
前任建設管理官	舘下 徹	(伏木富山港湾事務所 保全課長)
工務課長	水内 邦夫	(港湾空港部 港湾計画課長補佐)
保全課長	長沼 淳也	((国研)海上・港湾・空港技術研究所 港湾空港技術研究所 海洋研究領域 波浪研究グループ 主任研究官)

○石川県

●農林水産部

○部長級

農林水産部長	安田 秀樹	(参事兼総務部次長兼資産活用室長)
参事 (農林担当)	石井 克欣	(農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室長)

○次長級

農林水産部次長 (農業土木担当)	古西 広	(中能登農林総合事務所長)
農林水産部次長 (農林業公社担当)	北出 一郎	(農林水産部農業政策課技術管理室長)
南加賀農林総合事務所長	橘 順吉	(農林水産部森林管理課長 兼農業参入・経営戦略推進室次長 兼里山振興室次長 兼危機管理監室危機対策課担当課長 兼生活環境部温暖化・里山対策室次長)
県央農林総合事務所長	林 慎吾	(奥能登農林総合事務所長)
中能登農林総合事務所長	臼池 秀紀	(農林水産部農業基盤課担当課長 (里山振興担当) 兼里山振興室次長)

○課長級

農林水産部農業政策課技術管理室長	川崎 智之	(石川農林総合事務所土地改良部長)
農林水産部農業基盤課担当課長 (里山振興担当)	松村 武志	兼農業参入・経営戦略推進室次長兼里山振興室次長 (中能登農林総合事務所土地改良部長)
奥能登農林総合事務所長	山本 藤潤	(農林水産部農業政策課担当課長 (いしかわ農業総合支援機構担当))

○担当課長級

農林水産部農業政策課技術管理室担当課長	池田 千也	(県央農林総合事務所管理部企画調整室長)
農林水産部農業基盤課担当課長 (事業監理担当)	池田 俊文	兼土木部都市計画課生活排水対策室次長 (農林水産部農業基盤課参事 (企画調整グループリーダー))
南加賀農林総合事務所土地改良部長	大島 弘之	(農林水産部農業基盤課参事 (国営・指導グループリーダー))
石川農林総合事務所土地改良部長	三浦 正幸	(県央農林総合事務所土地改良部長)
県央農林総合事務所土地改良部長	川崎 義郎	(南加賀農林総合事務所土地改良部長)
中能登農林総合事務所土地改良部長	橋本 尚之	(農林水産部農業基盤課担当課長(事業監理担当) 兼土木部都市計画課生活排水対策室次長)
中能登農林総合事務所羽咋農林事務所長	石垣 広男	(農林水産部農業政策課技術管理室担当課長)

●土木部

○部長級

土木部長兼送水管耐震化推進室長	城ヶ崎 正人	(参事 (プロジェクト・港湾機能強化担当))
技監 (土木担当) (再任用)	鈴木 穰	

土木部参与（建築・営繕担当）（再任用（更新））兼県民文化スポーツ部新図書館整備推進室次長
 畝本 秀一（土木部参与（建築・営繕担当）（再任用）兼
 県民文化スポーツ部新図書館整備推進室次長）

県央土木総合事務所長併任送水管耐震化推進室次長
 二塚 保之（土木部次長（土木、まちづくり技術センター担当）
 兼景観形成推進室長兼送水管耐震化推進室次長
 兼危機管理監室次長兼生活環境部次長）

○次長級

土木部次長兼土木部企画調整室長兼危機管理監室次長
 上出 孝之（観光戦略推進部次長
 兼観光戦略推進部企画調整室長
 兼商工労働部港湾活用推進室次長）

土木部次長（土木、まちづくり技術センター担当）兼景観形成推進室長兼送水管耐震化推進室次長
 兼危機管理監室次長兼生活環境部次長
 鈴見 裕司（土木部道路建設課長
 併任送水管耐震化推進室課長）

土木部次長兼公園緑地課長 田村 功司（土木部公園緑地課長）

土木部参与（公園担当）（再任用（更新））
 丸山 隆史（土木部参与（公園担当）（再任用））

南加賀土木総合事務所長併任送水管耐震化推進室次長
 宮田 政佳（土木部監理課技術管理室長）

○課長級

土木部監理課技術管理室長 木戸口善治（石川土木総合事務所次長
 併任送水管耐震化推進室担当課長）

土木部道路建設課長併任送水管耐震化推進室課長
 中村 博昭（土木部都市計画課長兼景観形成推進室次長
 兼企画振興部企画課担当課長
 兼農林水産部里山振興室次長）

土木部港湾課長兼商工労働部港湾活用推進室次長
 宅美 克基（金沢港湾事務所長）

土木部都市計画課長兼景観形成推進室次長兼農林水産部里山振興室次長
 浅井 豊弘（土木部都市計画課生活排水対策室長
 兼生活環境部温暖化・里山対策室次長）

土木部都市計画課生活排水対策室長兼生活環境部温暖化・里山対策室次長
 宮村 雅之（土木部道路建設課担当課長（広域道路計画担当））

土木部水道企業課長兼送水管耐震化推進室課長
 本田 琢（南加賀土木総合事務所次長
 併任送水管耐震化推進室担当課長）

県央土木総合事務所次長 天日 輝浩（危機管理監付課長）

県央土木総合事務所次長 西道 正浩（土木部河川課担当課長）

県央土木総合事務所津幡土木事務所長
 堂畑 則彦（奥能登土木総合事務所珠洲土木事務所長）

中能登土木総合事務所羽咋土木事務所長
 谷口 雅晴（中能登土木総合事務所次長）

奥能登土木総合事務所珠洲土木事務所長
 寺田 龍彦（奥能登土木総合事務所次長）

金沢港湾事務所長 納橋 豊暢（土木部港湾課担当課長
 兼商工労働部産業立地課担当課長）

七尾港湾事務所長 松本 吉広（七尾産業技術専門校長）

手取川水道事務所長 竹本 芳紀（土木部水道企業課担当課長）

労働災害発生状況 ～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（令和2年分）

令和2年2月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	1	(1) 6	5	(1) 12	(2) 7	① 84
小松監督署	1	(1) 1		(1) 2	(2) 3	24
七尾監督署	2			2	(1) 4	13
穴水監督署	2		1	3	1	12
計	6	(2) 7	6	(2) 19	(5) 15	① 133
前年同期	3	(5) 9	3	(5) 15		103

() 内は木建工事 ○内は死亡者数

令和元年度 建設工事受注高調（元請）

民間

(単位100万円)

	土 木			建 築			計		
	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%
12月分	183	146	125.3%	1,089	1,575	69.1%	1,272	1,721	73.9%
1月分	103	107	96.3%	2,384	744	320.4%	2,487	851	292.2%
2月分	271	185	146.5%	852	1,280	66.6%	1,123	1,465	76.7%
年度累計	2,764	2,843	97.2%	22,884	22,368	102.3%	25,648	25,211	101.7%
29年度累計		3,535	78.2%		26,270	87.1%		29,805	86.1%
28年度累計		4,612	59.9%		21,470	106.6%		26,082	98.3%

官公庁

	土 木			建 築			計		
	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%
12月分	3,552	2,646	134.2%	1,853	621	298.4%	5,405	3,267	165.4%
1月分	2,217	1,901	116.6%	1,427	772	184.8%	3,644	2,673	136.3%
2月分	2,117	3,808	55.6%	74	282	26.2%	2,191	4,090	53.6%
年度累計	41,372	37,310	110.9%	14,299	10,064	142.1%	55,671	47,374	117.5%
29年度累計		34,235	120.8%		18,583	76.9%		52,818	105.4%
28年度累計		46,734	88.5%		11,551	123.8%		58,285	95.5%

合 計（民間+官公庁）

	令和元年度	平成30年度	%
12月分	6,677	4,988	133.9%
1月分	6,131	3,524	174.0%
2月分	3,314	5,555	59.7%

	令和元年度	平成30年度	%
年度累計	81,319	72,585	112.0%
29年度累計		82,623	98.4%
28年度累計		84,367	96.4%

会員消息

今回届け出があったのは次の3件でした。

○変更

会社名	変更前	変更後	変更年月日
	代表者	代表者	
(株)千場建設	藤瀬 敏彦	千場 勇輝	令和2年2月1日
三和建設(株)	坂井 勝昭	直川 修次	令和2年2月16日
(株)友真社	笹木 進	吉本 修一	令和2年2月27日

なお、変更があった時点で届出頂くようお願い致します。

県協会からのお知らせ

令和2年4月行事予定

- 4月 3日(金) 正副会長会議
石川県土木施工管理技士会 正副会長会議
- 9日(木) 北陸ブロック打合せ会議
(アートホテル新潟駅前)
- 13日(月) 金沢協会 監査
- 16日(木) 土地改良委員会正副・部会長会議
- 17日(金) 会報編集委員会
- 21日(火) 広報・研修委員会 企画部会
- 23日(木) 金沢協会 理事会
- 24日(金) 事務局打合せ
- 27日(月) 正副会長会議・正副理事長会議
- 30日(木) 組合 監査
協会 監査

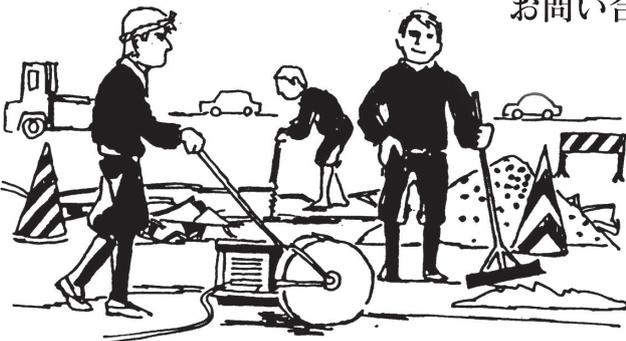
令和2年5月以降の行事予定

- 5月11日(月) 理事会 (建災防10:30・組合11:30・協会12:15)
- 14日(木) 青年海外協力隊を支援する会正副会長会議
- 19日(火) 褒章祝賀会
- 20日(水) 全建協連 総会・懇親会 (東京 霞が関ビル)
- 22日(金) 石川県建築士事務所協会 総会
(ANA ホリデイ・イン金沢スカイ)
- 26日(火) 総会(建災防11:00・組合13:00・協会14:00)
- 29日(金) 全国技士会連合会 理事会
(東京 アルカディア市ヶ谷)
- 全国技士会連合会 総会・表彰式・懇親会
(東京 アルカディア市ヶ谷)
- 全建 表彰式・総会・懇親会
(東京 経団連会館)

不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度 自動車保険

お問い合わせは.....



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン株式会社
損保ジャパンパートナーズ株式会社

TEL 076-231-7787

FAX 076-231-7766

〒920-0919 金沢市南町5-20

中屋三井ビル2F

- 6月 3日(水) 正副会長会議
常任理事会
15日(月) 測量コンテスト (金沢市ものづくり会館)
23日(火) 全建協連 専務・事務局長会議
(東京 霞が関ビル)
24日(水) 全国建産連 通常総会 (東京)
7月 3日(金) 正副会長会議
8月 6日(木) 北陸地方整備局との意見交換会
(ANAクラウンプラザホテル金沢)
9月30日(水) 全国建産連 会長会議
(ザクラウンパレス新阪急高知)
10月26日(月) 北陸建設業協会地域懇談会 (ホテル日航金沢)

「協会報」への随筆等投稿 (お願い)

- ①随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚 (1,200字以上)
②投稿の期日 毎月25日頃 (翌月号の編集締切り)
③協会報の発行 毎月1日発行
(毎月10日前後納入、会員送付)
④謝礼 投稿頂いた記事について薄謝贈呈

(注) お問い合わせは、
(一社)石川県建設業協会事務局広報担当
TEL 076-242-1161 (代) 内線40番

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

《行事予定》

- 4月 2日(木) 土木：舗装委員会
6日(月) 青年：技術防災セクション
まちなか協働パトロール 出発式
9日(木) 新年度挨拶まわり
10日(金) テレビ講座
13日(月) 土木：正副部会長・各委員長会議
16日(木) 土木：視察研修
20日(月) 技術社員研修会
23日(木) 常任理事会
理事会

《お知らせ》

- 5月22日(金) 定時総会

(一社)加賀建設業協会

《行事予定》

- 4月21日(火) 土木委員会 総会
22日(水) 役員会

《お知らせ》

- 5月13日(水) 協会・組合 定時総会
27日(水) 献血奉仕活動 実施
6月 3日(水) 監理技術者講習 開催

(一社)小松能美建設業協会

《行事予定》

- 4月 1日(水) 監理技術者講習
2日(木) 建築委員会親睦会
9日(木) 正・副会長会議
監査会
24日(金) 理事会

(一社)白山野々市建設業協会

《行事予定》

- 4月17日(金) 会計監査
24日(金) 役員会

《お知らせ》

- 5月19日(火) 定時総会

河北郡市土建協同組合

《行事予定》

- 4月24日(金) 令和元年度「事業会計監査」

(一社)羽咋郡市建設業協会

《行事予定》

- 4月21日(火) 監事会
22日(水) 理事会

《お知らせ》

- 5月10日(日) 歩いてみよう「のと里山海道」参加 (県主催)
19日(火) 定時総会

(一社)七尾鹿島建設業協会

《行事予定》

- 4月上旬 新年度挨拶回り

(一社)鳳輪建設業協会

《行事予定》

- 4月15日(水) 監事会 (会計監査)
22日(水) 役員会
30日(木) 定時総会

(一社)珠洲建設業協会

《行事予定》

- 4月20日(月) 会計監査
22日(水) 理事会

関係機関からのお知らせ

石川県建設工事総合評価方式試行運用基準の一部改正について

石川県土木部監理課

「石川県建設工事総合評価方式試行運用基準」を下記のとおり一部改正します。

記

1 適用時期

令和2年4月1日以降に入札公告を行う工事より適用する。

2 改正事項

(1) 評価項目のCPD（継続学習）について

令和2年度のCPD（継続学習）の評価基準は下記のとおりとする。

各団体の推奨単位 $\times 0.9$ 以上の取得で0.5点

各団体の推奨単位 $\times 0.9$ の1/2以上、推奨単位 $\times 0.9$ 未満の取得で0.25点

(2) その他

様式等が変更されているものもあるため、最新のものを使用する。

※ 石川県ホームページ（監理課技術監理室）に掲載しています。

（事務担当）

土木部監理課技術監理室 TEL：076(225)1787

商工中金の危機対応業務

～新型コロナウイルス感染症の影響を受けている
中小企業の皆さまへ～

商工中金では「新型コロナウイルス感染症に関する特別相談窓口」を設置しており、新型コロナウイルス感染症の影響により資金繰りに支障を来している中小企業の皆様からのご相談に対し、危機対応業務の「新型コロナウイルス感染症特別貸付」でお応えいたします。

○新型コロナウイルス感染症特別貸付(中小企業向け制度)の概要

～中小企業向け制度～

対象者	新型コロナウイルス感染症の影響により直近1カ月の売上高が、前年又は前々年の同期比5%以上減少している方
資金使途	設備資金 運転資金
適用利率	商工中金所定の利率 (下限は日本公庫の基準金利。(2020年3月19日現在) 1.11% (注))
利子補給(※1)	下記に記載の通り。
貸出期間	設備：20年以内(据置5年以内) 運転：15年以内(据置5年以内)
貸出限度(※2)	元高：20億円以内 残高：3億円以内

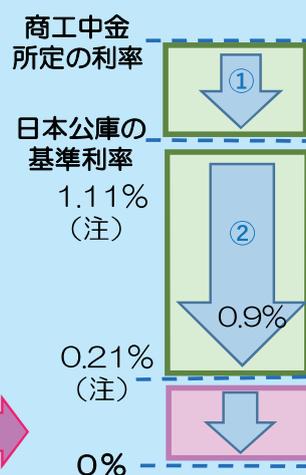
(※1) 利子補給の残高限度は、日本政策投資銀行等との合算運用となります。

(※2) 元高とは貸出額の累計です。貸出限度額は日本政策投資銀行等との合算運用となります。

[利子補給制度について]

①商工中金所定の利率が日本公庫の基準金利(上記1.11%(注))を上回る場合は、残高3億円までの全額について、お借入期間中にわたり、日本公庫の基準利率(上記1.11%(注))までの利子補給があります。

②残高1億円まで、当初3年間は0.9%の利子補給があり、0.21%(注)になります。
(4年目以降はこの利子補給はありません。)



[特別利子補給制度について]

★別途、「特別利子補給制度」により、一定の要件(売上減少：中小企業▲20%以上、小規模事業者▲15%以上など)を満たす方は、残高1億円まで、当初3年間は、金利0%となるまでの利子補給を受けることができます。

(4年目以降はこの利子補給はありません。)

※利子補給金の請求に係る具体的な手続きや、利子補給金をお客様にお返しする方法等の詳細については、中小企業庁ホームページ等で公表されるまで、今しばらくお待ち下さい。

● 利子補給制度と特別利子補給制度は、お借入期間中の金利はお客様にいったんご負担頂き、後日にまとめてお返す方式です。

(注) 「日本公庫の基準利率(2020年3月19日現在) 1.11%」は、貸出期間5年の場合の例示です。日本公庫の基準利率は、貸出期間により異なります。また、定期的な見直しにより変更されることがあります。



建設事業主のみなさん

「建設技能者の人材確保・育成」「現場作業員の福祉の向上」
のために建退共制度に加入しませんか!

**建設業の退職金は
日本全国どこの現場でも
公共工事も民間工事も**

建退共



独立行政法人 勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL 03-6731-2866



建退共

検索

お問い合わせは

建退共石川県支部

〒921-8036 金沢市弥生2-1-23 (石川県建設総合センター1F)
TEL076-242-2608(代) FAX076-241-9258

大切な社員と会社を守りたい。

ますます制度充実

建設共済保険

法定外労災補償制度



掛金が
安い

補償が
厚い

「建設共済保険」の他にも、
次のような事業を行っています。

育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ導入費用に対する助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

公益財団法人 建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-8 (虎ノ門琴平タワー 11 階)

■ 取扱機関: (一社) 石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生 2-1-23 Tel. 076-242-1161 Fax. 076-241-9258

詳しい情報、掛金試算などのお問い合わせは
Tel.03-3591-8451 Fax.03-3591-8474

建設共済保険

検索 



この冊子は、植物油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用した印刷物です。